

中学地理プリント（書き取り）
日本の資源と産業

名前

得点

/20

- 問1 1985年に先進5か国がドル安・円高へ誘導することに合意した出来事を何という？
- 問2 深刻な公害問題を乗り越え、現在は環境技術や資源循環を活かした街づくりに取り組む都市を何という？
- 問3 かつて大阪湾周辺で、繊維製品などの製造を中心に発展した工業を何という？
- 問4 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？
- 問5 生産された作物を大都市などの消費地へ流通させるために経由する、卸売の拠点となる場所を何という？
- 問6 河川の勾配や水量を利用し、ダムなどで水をためてタービンを回す発電方法を何という？
- 問7 京浜工業地帯において、東京都と接しており、横浜港などの重要な港湾を持つ県はどこ？
- 問8 漁獲量を安定させるため、海産資源を管理しながら積極的に増やす仕組みを何という？
- 問9 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？
- 問10 京浜工業地帯などで、かつての重化学工業からシフトして集積が進んでいる、高度な技術を要する産業を何という？
- 問11 天然の資源を保護しつつ安定した供給を行うために、養殖業と組み合わせる手法を何という？
- 問12 近郊農業において、収穫した作物を短時間で市場へ届けるために主に用いられる輸送手段は何？
- 問13 特定の企業や工場を中心に、関連企業が集中して町全体が成り立っているような形態を何という？
- 問14 日本企業が海外の工場建設や現地法人設立のために資金を投入することを何という？
- 問15 火山の地下にあるマグマの熱を利用して発電する方法を何という？
- 問16 現在、阪神工業地帯において大阪府から兵庫県にかけて集積している、石油精製やプラスチック製品などを作る工業を何という？
- 問17 1980年代に、日本から自動車や半導体などが大量に輸出されたことで生じた国際的な不釣り合いを何という？
- 問18 日本の海面養殖業で盛んに生産されており、食卓でも身近な海藻類を何という？
- 問19 日本企業がコスト削減を目的に生産拠点を海外へ移転した結果、国内の産業が衰退してしまう現象を何という？
- 問20 旬の時期以外にも出荷量を安定させるため、ガラスやビニールハウスなどを使って栽培することを何という？

答え合わせ・解説

問1	答え プラザ合意	1985年、アメリカのプラザホテルで開かれたG5において、「プラザ合意」が成立しました。これにより各国は協調してドル安・円高を促すこととなり、結果として急激な円高が進行しました。
問2	答え 環境モデル都市	環境モデル都市とは、低炭素社会を目指して画期的な取り組みを行う都市です。北九州市は、その経験を活かしてリサイクル技術や廃棄物発電などを推進し、世界的な環境都市として再生しました。
問3	答え 綿工業	阪神工業地帯の発展初期において、綿工業は中心的な役割を果たしました。安価な労働力と輸出に適した立地を活かし、大阪は「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほど繊維産業で栄えました。
問4	答え 現地生産	「現地生産」は、製品を売る国の中で工場を運営する方式です。これにより、相手国の雇用を増やし、物流コストを抑えることができます。特に自動車産業では、日本メーカーがアメリカや欧州に大規模な工場を次々と建設しました。
問5	答え 市場	市場は、生産者が育てた野菜や果物を全国から集め、仲卸業者を通じてスーパーマーケットや小売店へ流通させる拠点です。適切な価格形成を行い、安定した供給を保证する役割を担っています。
問6	答え 水力発電	「水力発電」は、ダムや落差を利用して水の勢いでタービンを回します。二酸化炭素を排出せず、需要に応じて即座に出力を調整できるため、電力の安定供給において重要な役割を果たしています。古くからあるエネルギー源ですが、技術の進化によりさらなる効率化が進んでいます。
問7	答え 神奈川県	神奈川県の沿岸部には、京浜工業地帯の主力工場や物流倉庫、研究所が数多く存在します。特に横浜港は、古くから国際貿易港として日本と世界を結ぶ役割を果たしてきました。
問8	答え 資源管理型漁業	資源管理型漁業は、漁獲量に制限を設けたり、稚魚を放流したりして、資源を枯渇させないように管理する手法です。特に栽培漁業と密接に関連しており、自然の海を上手に活用する技術が重要視されています。
問9	答え 近郊農業	近郊農業は、大都市に近い平野部で行われます。消費地に近いため、収穫したその日に店に並べることが可能であり、鮮度が求められるほうれん草や小松菜などの生産が盛んです。
問10	答え 先端技術産業	先端技術産業は、研究開発力や優秀な人材を必要とします。そのため、大学や研究機関が近く、生活環境の整った大都市圏や、その周辺に本社や研究所を設置する企業が増えています。
問11	答え 栽培漁業	栽培漁業は、養殖業が生け簀内で最後まで育てるのに対し、自然の海に放流して成長を委ねる点が特徴です。これにより、魚の運動量が増え、より天然に近い状態で収穫できるメリットがあります。
問12	答え トラック輸送	トラック輸送は、日本の近郊農業において最も一般的な輸送手段です。深夜や早朝の高速道路網を利用して、大都市の市場へ短時間で農産物を運ぶことで、鮮度を保ったまま店頭に並べることができます。
問13	答え 企業城下町	企業城下町とは、ある大企業の工場が町の経済や雇用を支える中心となっている都市を指します。雇用が安定し、地域経済がその企業に依存する一方で、インフラ整備などが進むという特徴があります。
問14	答え 直接投資	「直接投資」とは、単なる証券投資とは異なり、海外で現地生産のための拠点を設けるような経済活動を指します。これにより、現地での雇用創出や技術移転が行われる一方、国内での生産活動が減少するという側面も持ち合わせています。
問15	答え 地熱発電	「地熱発電」は、地下から取り出した蒸気でタービンを回転させて電気を作ります。天候や昼夜に左右されず、安定した発電が可能なベースロード電源として注目されています。東北や九州地方を中心に、国立公園内などの地熱資源が豊富な場所で主に導入されています。
問16	答え 化学工業	化学工業は、石油や天然ガスなどを原料として、プラスチックや薬品、合成繊維などを生産します。阪神工業地帯では、中小企業が持つ高度な技術力が大手メーカーと連携し、付加価値の高い製品を生み出しています。
問17	答え 貿易不均衡	しかし、日本からの輸出が急増しすぎることによって、輸入相手国との間で「貿易不均衡」が生じました。特にアメリカとの間では激しい摩擦（貿易摩擦）となり、日本の製品に対する関税の引き上げや、輸出の自主規制などが求められる事態となりました。
問18	答え のり	のり養殖は、寒冷な時期に潮の満ち引きを利用して網の上で育てます。成長したのりは収穫後に乾燥され、板のりとして全国に出荷されます。
問19	答え 製造業	国内の工場が減ることで、関連する下請け企業への発注が減り、地域の雇用が失われるなどの問題が起きました。これを「産業の空洞化」と呼びます。特に国内のモノづくりを支えてきた製造業において大きな打撃となりました。
問20	答え 施設園芸農業	施設園芸農業は、ビニールハウスやガラス室の中で温度・湿度・日照時間を調整して栽培します。これにより、露地栽培では難しい時期の出荷が可能になり、市場価格が安定しやすくなります。